

第4次経営計画の進行管理について

1 マネジメント・サイクルの活用

計画を着実に推進するため、毎年度、その進捗状況を評価し、その達成度合いに応じて次年度以降の計画の実施に反映させる、マネジメント・サイクル（PDCA：Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善））を活用した進行管理を行います。

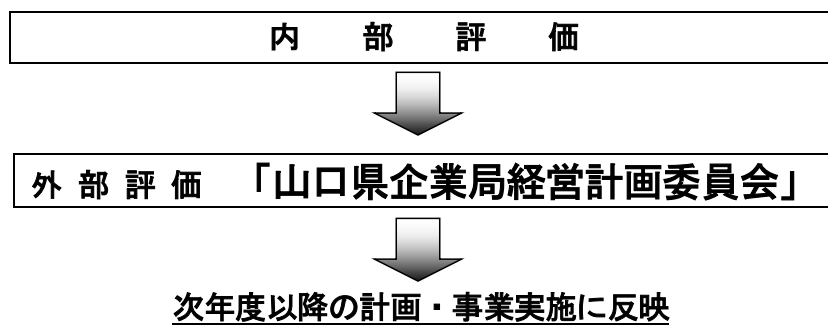
2 経営管理指標による進行管理

経営計画に掲げる経営管理指標（電気事業4項目、工業用水道事業5項目、その他4項目）について、目標値を設定し、毎年度、その達成度を把握・評価することにより、経営計画の進行管理を行います。

3 評価手順

マネジメント・サイクルによる評価は、内部評価に加え、学識経験者等で構成する第三者機関による外部評価を行います。

また、評価結果は、次年度以降の事業展開に反映させていきます。



《 山口県企業局経営計画委員会 委員 》

| 氏 名 | 役 職 等 | 備 考 |
|---------|------------------|------------|
| 熊 山 忠 和 | 林兼産業(株) 顧問 | (経営者・商工団体) |
| 品 川 充 洋 | 公認会計士 | (公認会計士) |
| 弘 中 大 久 | 三和産業(株) 代表取締役 | (経営者・商工団体) |
| 山 下 訓 | 山口大学経済学部 准教授 | (学識経験者) |
| 渡 辺 幹 文 | (一財)山口経済研究所 常務理事 | (金融関係) |

※ 五十音順

4 評価の観点

- (1) 前年度の年度計画の達成状況を分析し、A（計画を上回る（最高値の場合を含む））、B（ほぼ計画どおり）、C（計画を下回る）の3段階で事業評価を行います。
- (2) 事業評価結果を踏まえ、今後の事業展開（計画継続又は計画修正）を判断します。